

安達太良山の火山活動解説資料（平成24年12月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～2①）

若宮（沼ノ平火口の西北西約 8 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2②～④、図 3）

17 日 10 時 31 分に安達太良山沼ノ平火口の南約 5 km、深さ約 8 km を震源とする、マグニチュード¹⁾ 3.7 の地震が発生し、郡山市や二本松市等で最大震度 2 を観測しました。この地震の余震が 17 日に 15 回、19 日と 23 日に各 1 回発生しましたが、震度 1 以上を観測した地震はなく、その後は静穏に経過しています。

火山性微動は観測されませんでした。

1) マグニチュードは地震の規模を示します。資料中の値は暫定値で、後日変更することがあります。

・地殻変動の状況（図 4）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

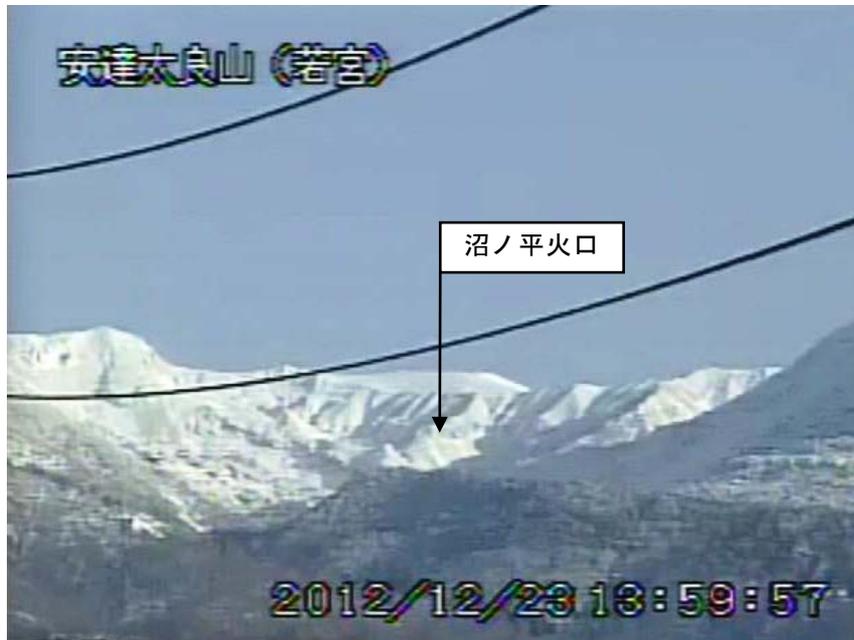


図 1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の映像（12 月 23 日 14 時 00 分頃）

・若宮（沼ノ平火口の西北西約 8 km）に設置してある遠望カメラによる。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 1 月分）は平成 25 年 2 月 7 日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

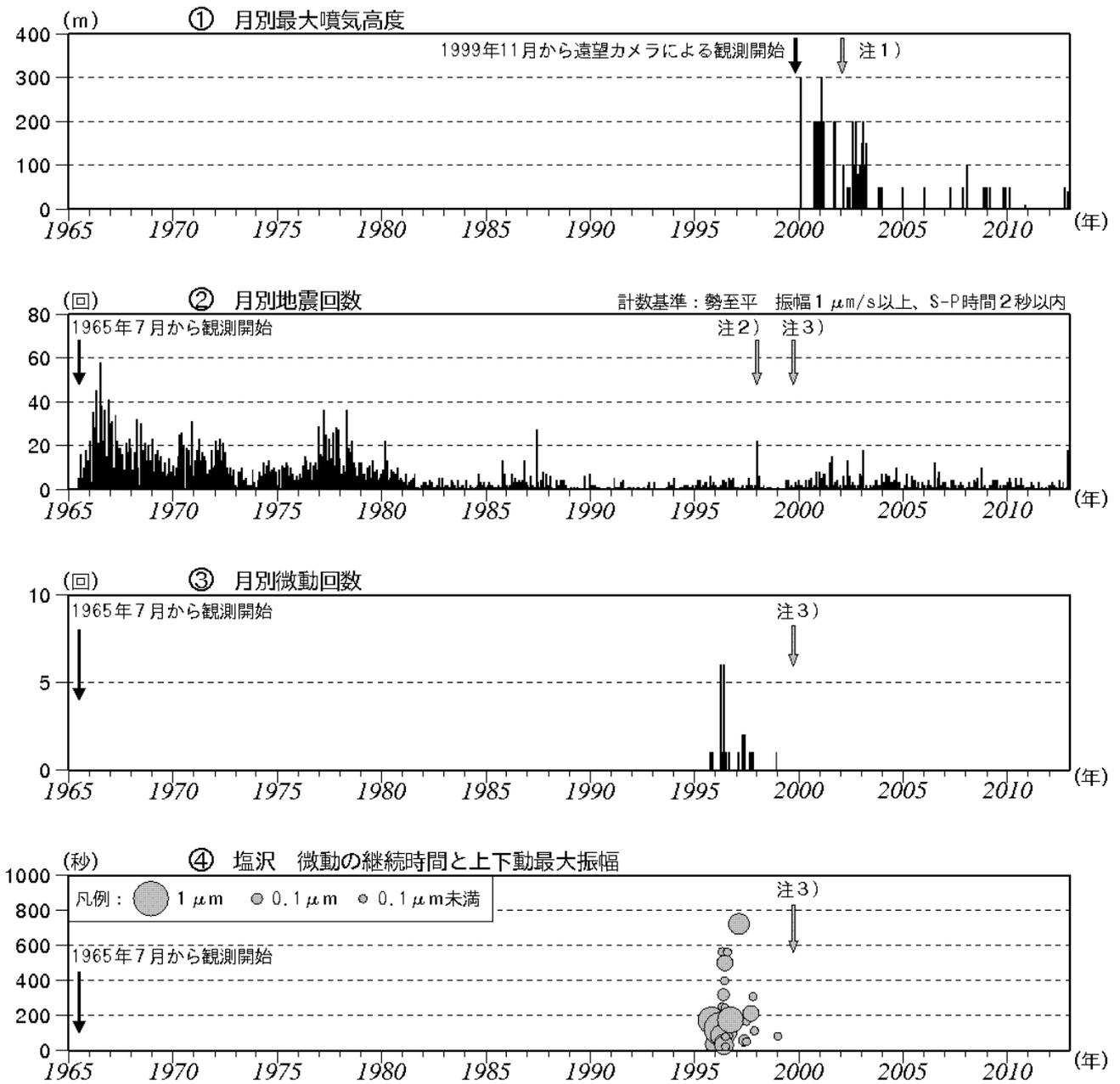


図2 安達太良山 火山活動経過図 (1965年7月～2012年12月)

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
- ・②～④注3) 1999年10月に勢至平観測点を新設し、基準観測点を塩沢観測点(沼ノ平火口から東北東約6km)から勢至平観測点(沼ノ平火口から東北東約3km)に変更しました。

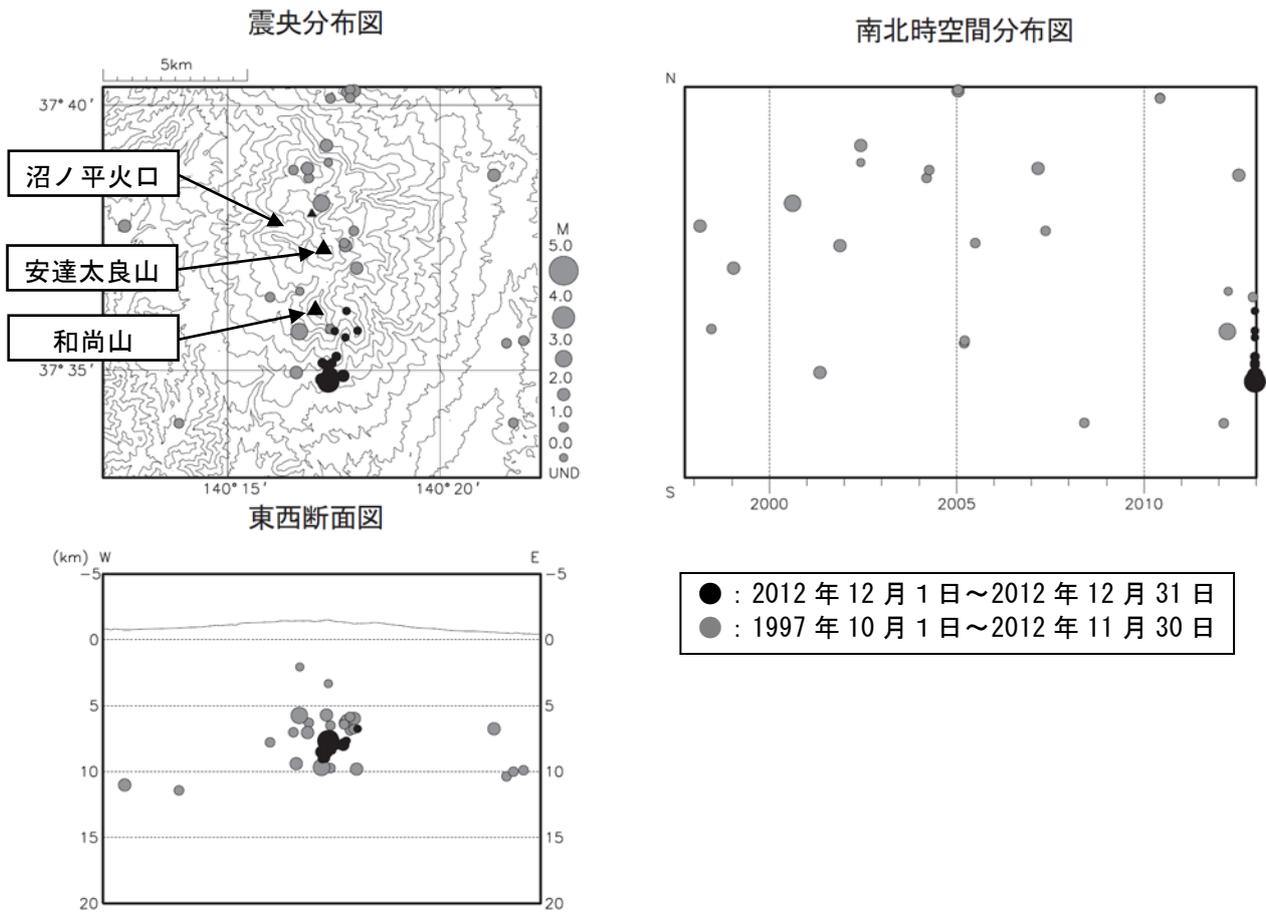


図 3* 安達太良山 広域地震観測網による安達太良山周辺の地震活動
(1997 年 10 月～2012 年 12 月)

- ・ 2001 年 10 月以降、検知能力が向上しています。
- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を示します。
- ・ 図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。
- ・ 2011 年 3 月 11 日以降、東北地方太平洋沖地震の活発な余震活動により、規模の小さな地震については未処理のものがあります。

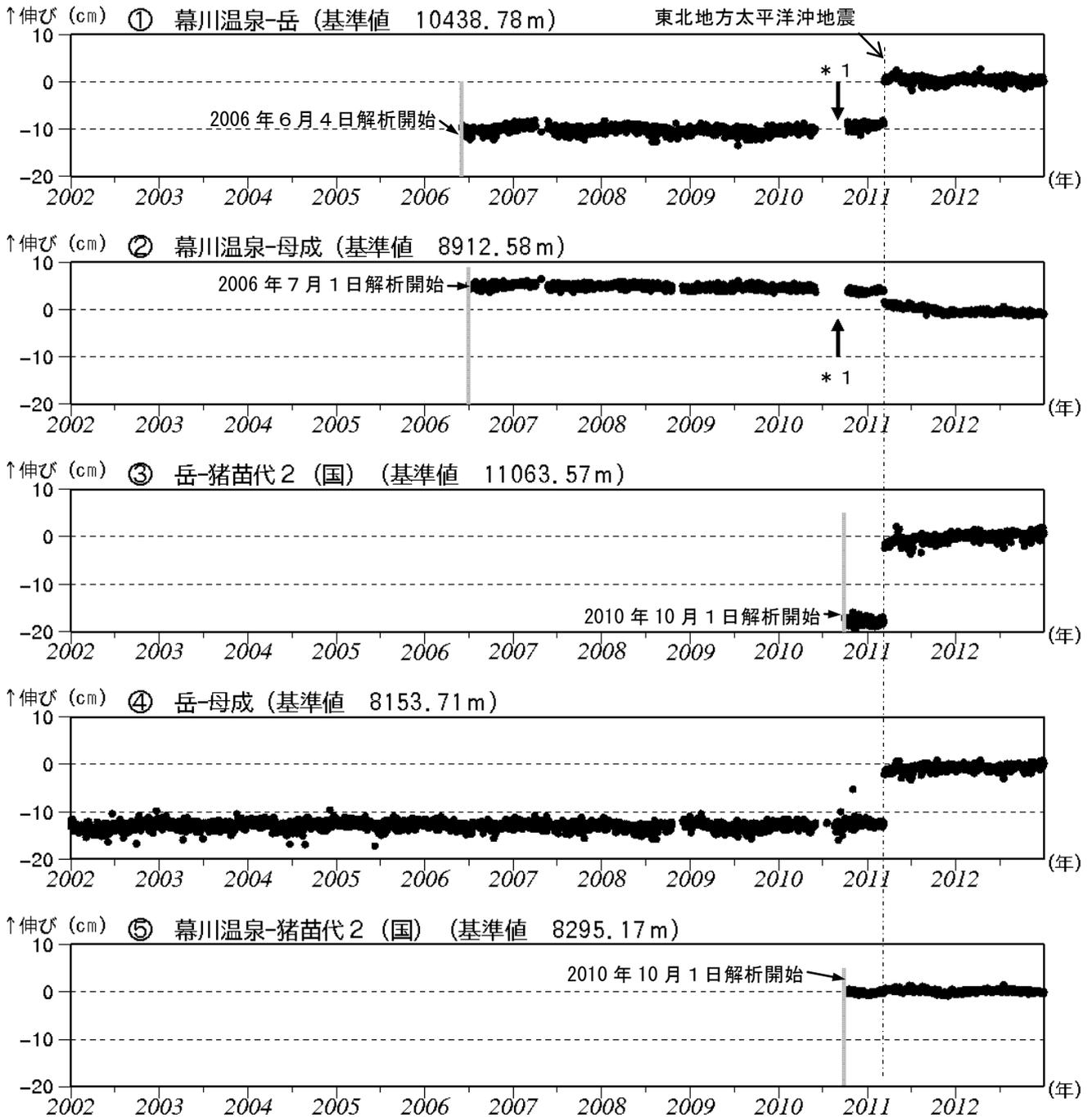


図4* 安達太良山 GPS 基線長変化図 (2002年1月~2012年12月)

- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・①~⑤は図5のGPS基線①~⑤に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- * 1 : 幕川温泉観測点の機器を更新しました。

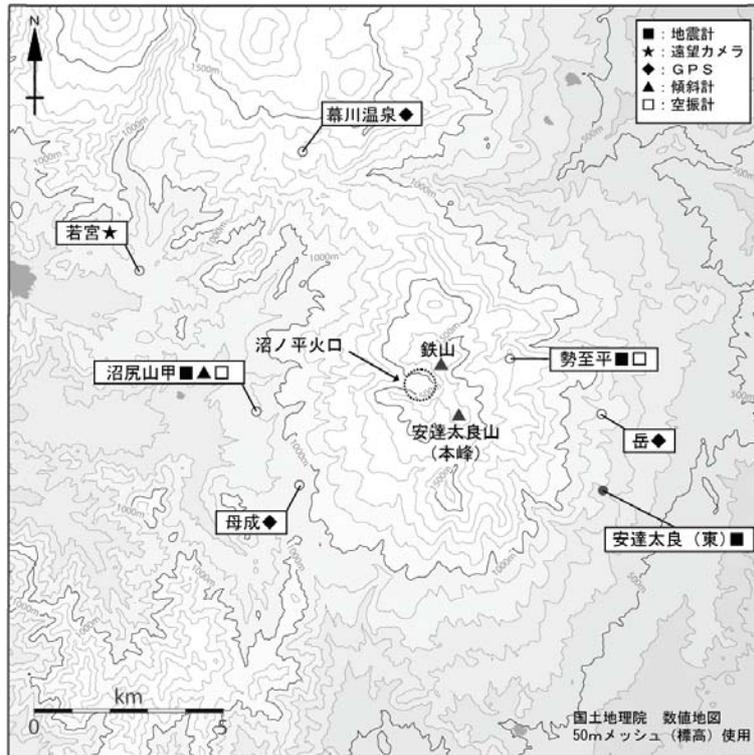


図5 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学

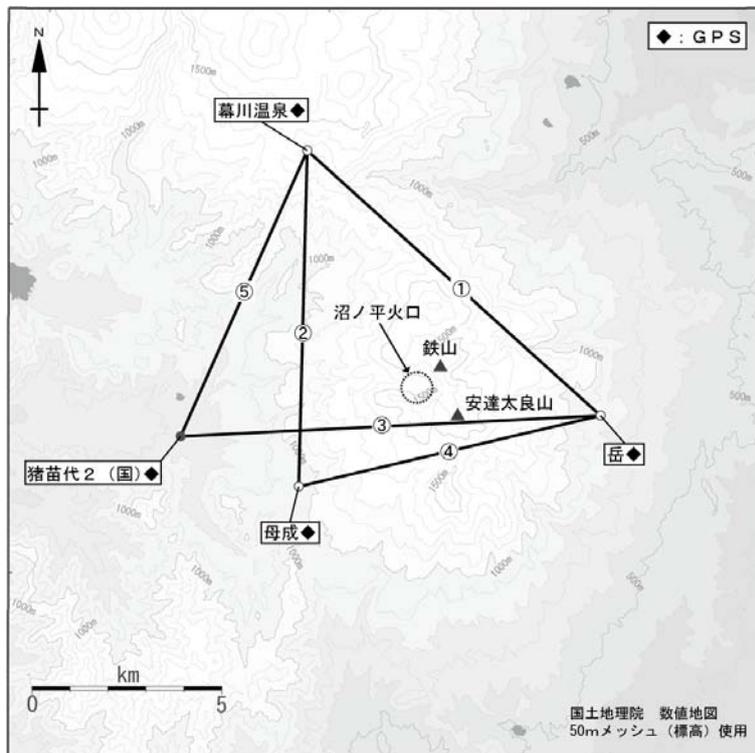


図6 安達太良山 GPS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院